



社協だより

第98号

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会



佐世保市社会福祉協議会では、佐世保市が実施した熊本地震への支援物資の受付・仕分け作業（平成28年4月19日（火）～4月24日（日）まで）に、ボランティアとして民生委員・児童委員や佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会関係団体、長崎県立大学や熊本大学の学生など多くの皆さんにご協力をいただきました。

※関連記事を3ページにも掲載しています。

第98号内容

- 1 新社協会長就任あいさつ及び新役員体制の紹介
- 2 熊本地震救援物資支援ボランティア活動及び義援金のお礼
- 3 児童センター青空児童館
- 4 福推協通信（天神・大久保地区）
- 5 社協会費のお願い
- 6 新任職員紹介
- 7 サマーボランティアキャンペーン2016参加者募集
- 8 サロン貸出遊具の紹介
- 9 地域共生サロンの紹介
- 10 民生委員・児童委員一斉改選の周知記事
- 11 平成27年度社協事業決算報告
- 12 善意のご芳志ありがとうございました
- 13 Let`sあたまのストレッチ
- 14 福祉・介護の就職合同面談会のご案内



この広報紙は、会費・寄付金や、共同募金の配分を受けて作成されています。

社会福祉協議会会長就任あいさつ



会長 深堀 寛治
ふか ほり かん じ

市民の皆様には、常日頃より社会福祉協議会の活動に対しまして、多大なご協力・ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、佐世保市社会福祉協議会の会長を務めさせていただくことになりました。深堀です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、近年、生活困窮・社会的孤立の問題を背景とする地域における深刻な生活問題が広がっています。

また、地震や風水害などの自然災害による甚大な被害が発生している状況下、社会福祉協議会の取り組みについても注目されており、それらに対応するための役割はますます重要になっております。

このような中、地域での思いやりや助け合いを育むため、地域福祉推進の中心的な役割を担っている社会福祉協議会に求められている期待は大きく、大事な時期に会長という重責を担う仕事をさせていただくことになりましたが、これまでの経験を踏まえ、地域福祉の充実と発展のため、社会福祉協議会運営に少しでも貢献できればと考えております。

私たち佐世保市社会福祉協議会は、基本理念であります、市民一人ひとりが「心豊かに安心して暮らせる福祉のまち」の実現に向けて、関係機関団体等と連携し、地域住民の皆様の協力のもと役職員一丸となって地域福祉の向上に努めてまいりますので、今後とも皆様の温かいご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

佐世保市社会福祉協議会新役員・評議員

【理事・監事】

会長	深堀 寛治	評議員	永尾 俊子
副会長	岩田 幸夫	評議員	池田 和枝
理事	鴨井 鐵太郎	評議員	西山 寛子
理事	嬉野 憲二	評議員	小村 省二
理事	林 俊孝	評議員	吉田 和美
理事	神吉 清久	評議員	副島 輝美
理事	三木 啓輔	評議員	橋山 良男
理事	阿野 房良	評議員	豊村 洋子
理事	岡崎 良一	評議員	久保田 直樹
理事	益田 仁	評議員	一山 信幸
理事	塚元 勝	評議員	山本 トシ子
理事	増田 美和子	評議員	三浦 優子
常務理事	永石 泰昭	評議員	石橋 直
監事	本村 泰人	評議員	帯田 浩孝
監事	伊藤 正男	評議員	村崎 公一
評議員	廣岡 光義	評議員	池永 英恒
評議員	井手 昭秀	評議員	片山 範子
評議員	川添 聡	評議員	松瀬 政司
評議員	矢島 百合	評議員	堂元 嘉一
評議員	太田 昭人		
評議員	相川 清		
評議員	秋月 孝之助		
評議員	永島 厚子		
評議員	小川 則弘		
評議員	立木 房子		
評議員	後藤 雅敏		

【評議員】

評議員	廣岡 光義
評議員	井手 昭秀
評議員	川添 聡
評議員	矢島 百合
評議員	太田 昭人
評議員	相川 清
評議員	秋月 孝之助
評議員	永島 厚子
評議員	小川 則弘
評議員	立木 房子
評議員	後藤 雅敏

理事・監事任期期間
(H28年4月1日)
(H30年3月31日)

評議員任期期間
(H27年4月1日)
(H29年3月31日)

※H28年7月1日現在の役員・評議員体制となっています。

熊本地震救援物資支援 ボランティア活動



熊本地震に伴う支援物資を佐世保市を通じて市民の皆さんに募りましたところ、多くの
方々からご協力をいただきました。(期間：H28.4.19～4.24まで)



募集の品物は、新品(未使用品)の水、保存食、カップ麺、
無洗米、粉ミルク、タオル、トイレットペーパー、ティッシュ
ペーパー、ウエットティッシュ、歯ブラシ、歯磨き粉、紙おむ
つ(成人用、子ども用)、生理用品、ゴミ袋(45ℓ以上)で
す。

支援物資の受付期間中、多くのボランティアの方々に物資の
受付・積み降ろし、仕分け、箱詰め作業などをしていただきました。

ボランティアの方々の中には、熊本出身の学生の方や実際に
今回の地震で被災された学生の方もおられ、「何か自分たちにで
きることがあれば」との想いから手伝いに駆けつけてくれました。

ご協力いただきましたボランティアの方々をはじめ、物資の提供
や義援金のご協力をいただきました市民の皆様には、心からお
礼申し上げます。

今回、作業していただいた支援物資は、空輸で熊本県に送ら
れ、被災地の方々へ届けられました。



義援金のお礼

今回の地震災害により、被害を受けられた方々には
心からお見舞い申し上げます。

共同募金会佐世保市支会(事務局：社協)で受け
付けております義援金として、個人や団体をはじめ法
人等からの寄付及び街頭募金などにより、市民の皆様
からあたたかいご協力をいただきました。

これまでお預かりしました義援金について、下記の
通りご報告いたします。

5月31日現在 **5,133,760円**

この義援金は、熊本県共同募金会へ送金したのち
被災地の方々へ直接配付されます。

ご協力いただいた皆
様、誠にありがとうございました。



青空児童館

～楽しいあそびをお届けします～

佐世保市社会福祉協議会が運営している児童
センターでは、小学生や幼児親子を対象に様々な
遊びを提供しています。子ども会など児童の健全
育成を推進する団体からのご要望により、青空児
童館をご希望の場所で開催することもできます。
お気軽にお問い合わせください。

◆青空児童館 提供内容◆

①遊びや工作の指導

職員が出向いて遊びや工作の指導を行います。
(例：レクリエーション、簡単工作など)

②遊びや工作の事前指導

ご要望があれば、遊びのノウハウや工作の製作
準備を教えることも可能です。

③遊具の貸出

輪投げやオセロなどの遊具等をお貸しします。

◆児童センターの問合せ先◆

相浦	☎47-2323	山澄	☎31-2557
早岐	☎38-1152	大野	☎40-9345
稲荷	☎34-1152	広田	☎39-5366
春日	☎25-3785	黒髪	☎34-0700
宇久	☎0959-57-3132		

福推協通信

～地域の情報をお届けします～

市内33地区に設置された福祉推進協議会（略称：福推協）では、各地区の特色を活かした地域福祉活動が行われています。今回は、天神・大久保地区の取り組みを紹介します。

天神地区

天神地区は、天神山の南東斜面から佐世保湾に突き出した崎辺半島に続く広大な地域で、日当たりもよく、海にも近い地域となります。

明治以降、天神町は東彼杵郡日宇村崎辺免、大黒町は福石免、東浜町は崎辺免東浦と呼ばれていましたが、昭和2年4月に日宇村が佐世保市に合併し、その後免制度の廃止で天神町、大黒町、東浜町となりました。戦後、昭和28年には天神小学校や公営住宅が建設され、昭和36年には十郎原団地が建設され、十郎新町ができました。それとあわせて一般住宅の建築もはじまり、あっという間に一大住居地として現在に至ります。天神地区福祉推進協議会では、「めざそう!天神山麓パラダイス」を目標に掲げ、様々な取り組みを実施されています。ここではその一部を紹介します。

福祉サポーター活動

一人暮らしの高齢者などを対象に、身近な相談相手として福祉サポーター活動を実施されています。

定期的に訪問活動続けられ、利用者からの評判も上々です。



ふれあい・いきいきサロン活動

誰もが気軽に、楽しく、定期的に集まれる場づくりとして、子どもや高齢者を対象としたサロンづくりに取り組んでおられます。



ふれあい食事サービス活動

一人暮らしの高齢者などを対象に、食事サービスボランティアの皆さんによる食事会や配食サービスを実施されています。30年以上続けられているグループもあります。



「福推協だより」の発行

福推協の取り組みや地区内での地域福祉活動を取り上げて、年4回発行されています。



大久保地区

大久保地区は15の町（相生町、天満町、浜田町、高砂町、谷郷町、木場田町、比良町、東大久保町、西大久保町、上町、元町、泉町、長尾町、園田町、小野町の一部）からなり、弓張岳の麓から佐世保川河畔にかけて開けた地区です。

地区内には、新旧の幹線道路や観光道路が走るとともに、中央保健福祉センター、警察署、佐世保合同庁舎などの官公庁及び銀行・病院・スーパーなどの施設があります。また、隣接地には市役所・総合病院・消防署などがあり、市の中心部にも近いので、大変便利な地区と言えます。

中心地の近郊として歴史も古く、明治22年（1889年）、佐世保海軍鎮守府が開庁された後、海軍関連の産業が盛んになり、地区の人口も増えました。その頃は天満町に商店の他、役場や警察署の官公庁も集中していて、天満町から浜田町の通りが市のメインストリートだったようです。

大久保地区福祉推進協議会では、「すいっと大久保～みんなでつくろう安全・安心住みよいまち～」を目標に掲げ、様々な取り組みを実施されています。ここではその一部を紹介します。

ふれあいネットワーク活動の推進

一人暮らしの高齢者などが地域で安心して暮らせるように、近隣住民の皆さんの協力による見守り活動を実施されています。



児童生徒の登下校見守り活動

犯罪や交通事故に巻き込まれないように、見守り、交通整理、あいさつ運動を年間通して実施されています。



佐世保市社会福祉協議会 会員募集!

ボランティアといっても、何から始めていいか悩んでいませんか?
社協会員になることは、あなたの住む地域の福祉に貢献できるボランティアの第一歩となります。
福祉(ふだんのくらしのしあわせ)のまちづくり実現のため、ぜひ社協会員にご加入ください!

年会費

団体会員
5,000円

一般会員
200円

特別会員(個人)
5,000円

賛助会員(個人)
1,000円

特別会員(企業)
10,000円

佐世保市社会福祉協議会では、活動に賛同していただける会員様を募集します。みなさんの力を合わせて佐世保の福祉を支えましょう!

募集強化期間 平成28年7月1日(金)~9月30日(金)

『社協会費』の使いみちは?

- ・ふれあいいきいきサロンづくりの推進
- ・地区福祉協への活動支援
- ・食事サービス活動(高齢者)
- ・福祉教育の推進
- ・災害ボランティア活動の推進・研修 など



サマーボランティア キャンペーン2016 参加者募集

子どもから大人まで誰もが気軽にボランティア活動に参加できる「サマーボランティア・キャンペーン」が今年も開催されます。だまっても汗をかく夏。ボランティアでいい汗流してみませんか?

体験期間 7月1日~9月30日の間で、受け入れ施設の定める期間

体験場所 県内の社会福祉施設等

体験内容

- ・施設利用者とのふれあいや介助等の手伝い
- ・施設行事への参加、協力による利用者とのふれあい
- ・ボランティア団体、当事者団体等との共働活動等

その他 体験活動の諸経費(ボランティア活動保険、交通費、昼食代等)は、原則として参加者の負担となります。

問合せ先
佐世保市社会福祉協議会ボランティアセンター
☎0956-23-3905
佐世保市社会福祉協議会
☎0956-23-3174



新任職員の紹介

佐世保市社会福祉協議会
地域福祉課に、4月からフレッシュな仲間が入りました。

いろいろな経験を重ねながら、早く名前も覚えてもらえるように、地域にもどんどん出かけて行きますので、どうぞよろしくお願いいたします。



やまもと きょうへい
山本 恭兵

サロン貸出遊具が 充実しました。

ふれあいいきいきサロンをはじめ、子ども会や地域の催しものなどで、誰でも簡単にできる遊具の貸出を行っています。

遊具は**全42種類**で、貸出も無料となっています。ぜひご利用ください。

【遊具の一例】

- スカットボール
- バグー
- 輪投げ
- ラダーゲッター
- 釣りっこなど



「地域共生サロン」づくりを推進しています

私たちが暮らす地域には、年齢や障がいの有無に関係なく様々な人々が暮らし、さらに公的な制度では対応できない課題も増大しています。

このような住民の多様な福祉課題に対応するには、制度のすき間を埋める取り組みが必要となります。

その一つの取り組みとして、「いつでも誰でも気軽に集える」居場所づくりが必要と考えられています。

社会福祉協議会では、地域住民の皆さんや団体、関係機関の皆様のご協力のもと、その拠点となる「地域共生サロン(地域の居場所)」づくりを推進しています。

今福東さくら会サロン(三川内)の活動紹介

今福東公民館では、主に高齢者向けサロンをされていましたが、小学生や就学前の親子にも参加してもらいたいとの思いから、「地域共生サロン」としての新たな活動に取り組んでおられます。

現在、学校帰りの小学生が立ち寄って高齢者と一緒にレクリエーションを楽しんだりして楽しい時間を過ごされています。

参加者からは、「子どもたちの笑顔を見られるから今まで以上に楽しい!」との声も聞かれ、帰る際には「また来週もこんばよ～」との会話が交わされています。



民生委員・児童委員の改選にご協力ください

本年12月に、民生委員・児童委員が全国一斉に改選されます。
事前に地域の皆さんへ候補者の推薦を依頼しますので、ご協力をお願いいたします。

【民生委員の役割】

民生委員とは、社会奉仕の精神を持って地域住民の相談に応じ、関係機関・団体と連携しながら必要な援助を行う地域福祉の担い手です。

【選任基準】

佐世保市議会議員の選挙権を有し、人格識見が高く、広く社会の実情に通じ、社会福祉の推進に熱意のある人

【身分・任期】

非常勤特別職の地方公務員で、任期は3年です。現民生委員児童委員は、本年11月30日をもって任期満了となります。児童福祉法で「児童委員」も兼ねます。

【主な職務の内容】

- ・必要に応じ、地域住民の生活状況を把握します。
- ・援助が必要な人に、関係機関・団体と連携しながら、適切な助言及び情報の提供をします。
- ・地域住民の福祉増進を図るための支援活動などを行います。

※民生委員・児童委員は、
秘密厳守が法律で義務
付けられています。

詳しくは、佐世保市役所保健福祉部保健福祉政策課
(Tel 0956-24-1111 内線5514)までお尋ねください。



平成27年度 佐世保市社会福祉協議会事業報告

平成27年度に取り組んだ主な事業

○各地区福祉推進協議会(福推協)との連携・支援

小地域における福祉活動や「地区地域福祉活動計画」の実践活動が着実に推進されるよう、地区担当職員が各地区の定例会や総会等へ参加して企画や提案、関係機関・団体との調整など、その地域の特色を活かした活動の支援に取り組みました。特に「ふれあいいきいきサロン」の意義や必要性について、事例を基に説明し開設を働きかけたほか、既存のサロン及び自主グループに対しても、職員が訪問してレクリエーション等の実施や、サロン情報交換会等を実施してサロン活動の活性化に努めました。さらに、「サロンレクリエーション集」を作成し配布したほか、新設サロンへの活動費支援を行うことでサロン数を飛躍的に増やすことにつながりました。

また、福祉推進協議会会長連絡会や先進地視察研修会(佐賀県唐津市社会福祉協議会・福岡県糸島市桜野校区社会福祉協議会)を始め、福推協の構成員を対象とした研修会を市内6ブロックで開催し、福推協の役割の認識を含め、各地区における福推協活動の活性化に取り組みました。

○要支援者の権利を擁護するための取り組み

認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が十分でない方が、住みなれた地域で安心した生活が送ることができるよう「させほ成年後見センター」を開設しています。

家庭裁判所の選任により、佐世保市協が成年後見人等となり、財産管理や福祉サービスの契約等を本人の代わりや本人を援助して行いました。

○包括的・継続的な日常的見守り・生活支援

経済的な問題を抱える人や社会とのつながりを持たない人たちを、経済的困窮状態や社会的孤立から脱却することを支援するため、「生活困窮者自立相談支援事業(市委託事業)」に取り組みました。専門スタッフを配置し相談窓口の設置、生活困窮者の把握、自立支援計画の作成、自立支援計画の調整会議の開催などを行い、対象者に寄り添った支援を行いました。

○地域活性化事業

高齢化、過疎化が進む黒島地区の活性化に向けて、継続して「黒島ハッピーカフェ」の活動支援を行ったほか、「黒島地区保健・医療・福祉連携会議」を開催し「くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画」を策定しました。また、医師や保健師、包括支援センター、民生委員、町内会の協力を得ながら「福祉支え合いマップ」作りを行いました。

○ボランティア・市民活動の推進

ボランティアセンターにおいて、市民へのボランティア・NPO・市民活動への参加を広く呼びかけるとともに、ボランティア研修会や市民向け災害ボランティア研修会を開催いたしました。また、関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的に、16機関・団体による「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を開催したほか、先進地視察研修会(広島県社協・東広島市社協・安佐北区社協)を開催いたしました。

○福祉教育・人材育成

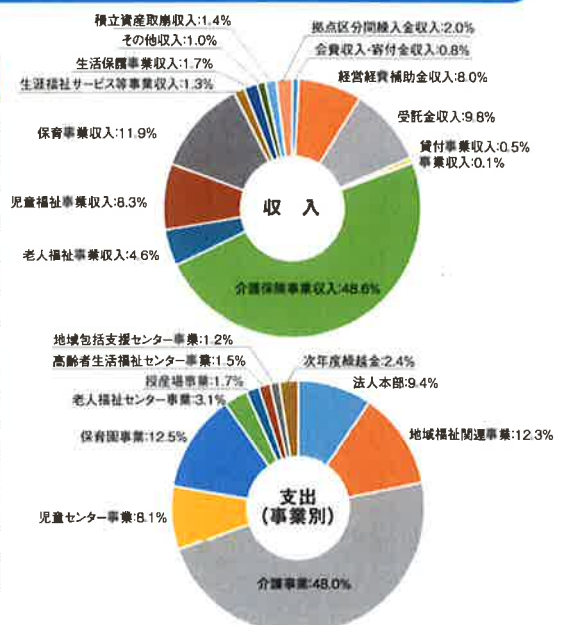
佐世保市において地域を基盤とした福祉教育を推進するために必要な考え方、また具体的な学習方法や地域で活用できる社会資源等を記載した「佐世保市ふくし教育実践指針」を策定しました。また、全社協より「社会的包摂に向けたふくし教育」のモデル事業を受け、早岐小学校3年生を対象に各種関係団体・関係者の協力を得て実施いたしました。

○活動啓発・情報収集及び提供

「社協だより」、ボランティア・NPO関係係報紙「くれよん」、「地域福祉かわら版よもーで」の発行をはじめ、社協ホームページによる広報を通じて、地域福祉活動への理解と地域福祉に関わる新しい情報の提供に努めました。

平成27年度決算

収入	決算額(円)	割合	支出(事業別)	決算額(円)	割合
会費収入・寄附金収入	12,550,138	0.8%	法人本部	142,932,098	9.4%
経常経費補助金収入	120,643,972	8.0%	地域福祉関連事業	186,958,830	12.3%
受託金収入	148,835,151	9.8%	介護事業	727,846,137	48.0%
貸付事業収入	7,823,740	0.5%	児童センター事業	122,739,537	8.1%
事業収入	1,952,350	0.1%	保育園事業	188,943,823	12.5%
介護保険事業収入	736,881,071	48.6%	老人福祉センター事業	46,211,594	3.1%
老人福祉事業収入	69,327,306	4.6%	授産場事業	24,986,308	1.7%
児童福祉事業収入	125,497,000	8.3%	高齢者生活福祉センター事業	22,571,367	1.5%
保育事業収入	181,221,680	11.9%	地域包括支援センター事業	18,052,382	1.2%
障害福祉サービス等事業収入	20,215,640	1.3%	次年度繰越金	36,369,071	2.4%
生活保護事業収入	25,784,100	1.7%			
その他の収入	15,510,002	1.0%			
積立資産取崩収入	20,696,716	1.4%			
拠点区分間繰入金収入	30,672,281	2.0%			
収入合計	1,517,611,147	100%	支出合計	1,517,611,147	100%



善意のご芳志ありがとうございました

(平成28年2月1日～平成28年5月31日)

【個人】

故太田 ミキ様 (広田2丁目) 山下 剛様 (黒髪町) 楠田 徳保様 (天神5丁目)
 太田 弘明様 (小佐々町矢岳) 橋本 光子様 (江迎町田ノ元) 山口美智子様 (鹿町町土肥ノ浦)
 込山マリエ様 (宇久町平) 寺坂ハツエ様 (宇久町神浦) 築山 進勇様 (宇久町神浦) 藤田 富男様 (宇久町平)
 大塚志摩子様 (宇久町平) 田中喜美子様 (宇久町平) 入端 栄一様 (宇久町平) 坪井 善明様 (宇久町平)
 野口 敏一様 (宇久町野方) 田口 広一様 (宇久町大久保) 浦崎治三夫様 (宇久町平) 向江 勝之様 (宇久町野方)
 畠 敏幸様 (宇久町神浦) 神山 愛子様 (宇久町神浦)
 礎 道子様 (東彼杵郡波佐見町)

【団体】

佐世保地区労働者福祉協議会様 シルクミュージックジョイントプロダクション様 長崎県立佐世保看護学校自治会様
 九州ひぜん信用金庫様 ドリーム体操クラブ保護者会様 骨董市場INさせば実行委員会 代表 長濱七郎様
 さつき会 会長 榎並 昭様 大宮・西海食の交流促進協議会様

社会福祉協議会では、香典返しの寄付や募金などの一般寄付をいただいております。これらの浄財は、様々な福祉事業に活用させていただいております。また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状(忌明け礼状)の印刷をしております(枚数は金額に応じます)。詳しくは、社会福祉協議会までお気軽にお問合せください。

平成28年度 福祉・介護の就職合同面談会のご案内

福祉の仕事を希望している方はどなたでも参加できます。詳しくはホームページでご確認ください。

【長崎会場】

○日時:平成28年8月6日(土)13:00～16:00
 ○会場:長崎ブリックホール3階(長崎市茂里町)

問い合わせ先

長崎県社会福祉協議会 福祉人材センター
 ☎095-846-8656
<http://www.nagasaki-pref-shakyo.jp>

【佐世保会場】

○日時:平成28年9月4日(日)13:00～16:00
 ○会場:アルカスSASEBO(佐世保市三浦町)

施設・事業所の採用担当者と直接面談ができますよ!福祉・介護のお仕事を希望している方はどなたでも参加できます!詳しくはホームページでご確認ください。

※事前の申し込みは不要です。
 当日会場へお越しください。



【お問い合わせ先】

佐世保市社会福祉協議会
 〒857-0028 佐世保市八幡町6-1
 TEL0956-23-3174/FAX 0956-23-3175
<http://www.sasebo-shakyo.or.jp>

佐世保市社会福祉協議会

検索

LET'S あたまのストレッチ



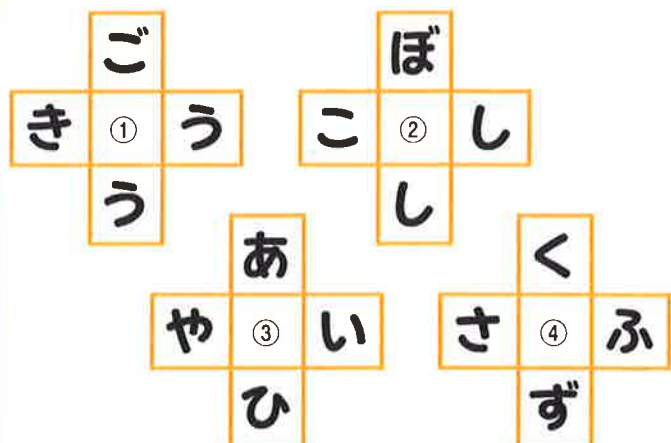
空欄にひらがなを入れ、4文字の単語を完成させてください。①～④をつなげたものが答えです。ハガキに氏名・住所・年齢・答え・社協だよりの感想・ご意見などを書いて社会福祉協議会へご応募ください。

抽選で15名の方に図書カードを差し上げます。

(応募先) 〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

佐世保市社会福祉協議会

(締切り) 平成28年8月31日まで(必着)



前回の答えは、「えがお」でした。207通ものご応募をいただきありがとうございました。いつも笑顔で過ごせるとは限りませんが、辛いことがあっても「止まない雨は無い」はず。みなさん心に笑顔を描きながら、一歩いっぽ頑張っていきましょう。